

G1—28—

# 基礎能力

## 試験問題

### 注意事項

1. 問題は **40 題(38 ページ)**で、解答時間は正味 **2 時間 20 分**です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

詩は言葉の芸術であるといわれています。そういえば音楽は音の芸術であり、絵画は色彩と線の芸術です。言葉が詩という芸術をつくる唯一の素材であることにおいては、全く絵画や音楽における色や音の場合と同じですが、その素材そのものの機能や在り方においては本質的にちがうものです。絵画や音楽の素材は、それ自体なんの「意味」ももちませんが、詩の素材は「意味」をもっているということです。いいかえれば、絵画や音楽においては意味のない素材によって、芸術という意味の一宇宙を創るのですが、詩においては、それを形成する素材の一つ一つが、既にことごとく意味の一小宇宙をもっているということです。

そういう点で、詩の創造の手続はきわめて複雑です。音楽や造型美術の創造と、詩の創造と、どちらがむずかしいかということは別問題ですが、その方法に全く異なった配慮が必要とされねばならないのはこのためです。

絵をかく場合と、詩を書く場合、そのやり方に全く勝手のちがったものを感じさせられるのは、一つに、こうした素材の本質的な相違によるものです。詩の造型には感覚ばかりでなく、各素材の小宇宙をつづり合わせる論理が必要とされるからです。いずれにもせよ、色彩や音に無関心である人に、ロクな絵や音楽が出来ないと同様に、言葉に無関心であったり、鈍感である人にロクな詩が書けないことはいうまでもありませんが、詩の素材である言葉の在り方には、このように他芸術の素材とは根本的な相違があることを、まずその配慮の根底におく必要があると考えられます。

さて、人々は誰でも毎日の日常生活の中で、意志や感情を伝えるための実用的な道具として、言葉をきわめて無関心に、そして習慣的にとりあつかっています。この場合の言葉のもつ意味は極端に単純化されています。いや単純であればある程生活上の用をたす道具としては便利で理想的であるといえます。一つの言葉がただ一つの意味しかもたないことが、生活の用を便ずるには、もっとも能率的だからです。こうした日常生活上の便宜主義は、言葉のもっている複雑微妙で、本質的な性格を知らず知らずのうちに単一化しているのです。つまり言葉のもっている機能の一つの面だけが、その習慣性によって異常に発達し、手ずれして、言葉が本来的にもっていた他の複雑な機能は、ことごとく退化してしまっているといつてよいでしょう。

1. 詩の素材となる言葉の一つ一つは既に意味の小宇宙を持っており、詩の創造には、感覚のみならず、それらの小宇宙をつづり合わせる論理が求められる。
2. 詩の創造の手続は極めて複雑で、音楽や造型美術の創造よりもはるかに多くの困難が伴うが、これは言葉が詩という芸術をつくる唯一の素材であるということに起因している。
3. 詩の創造では、絵や音楽の場合とは異なり、まず素材への関心を持つことが重要であり、言葉に無関心であったり鈍感である人にロクな詩は書けない。
4. 言葉は意志や感情を伝えるための実用的な道具でもあることから、人々は、日常生活上の便宜のために、言葉のもっている本質的な性格を意図的に単一化している。
5. 言葉は本来的に複雑微妙な機能を有しているが、日常生活においてその機能は退化してしまっており、そのことが詩の創造を困難なものにしている。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

教室にはたいてい黒板の類がある。その近くには、ほとんどの場合、教卓が置かれている。こちらが、この部屋の「前方」である。そこに立つ人(すなわち「教師」)が、「前を向きなさい」と指示した場合、どちらを向けばよいのか。このような問いかけに、ほとんど自動的にそこにいる人びとの身体が反応するほど、教室という空間の特徴は、空間の向きを自明のものとして特定している。

このようにして部屋の向きが決まる。その部屋にいる「教師」以外の他の多数の人びと(すなわち「生徒」)は、「前」を向いて、「教師」に直面する。黒板、教卓、机、椅子、そして壁という物理的な資源の並び方、置かれ方に特定の形式をもつ教室空間の特徴は、そこにいる人びとに対して、どこが自分の占めるべき場所なのかを、暗黙のうちに示し、そこにいることを強制している。

このような配置は、そこで行われるコミュニケーションが、前方から後方へという流れを中心に行われることを前提にしている。いいかえれば、黒板の前に立つ人が、メッセージを発する中心であり、その人物に向かい合う複数の人びとは、その受け手である。こうした関係は、教室の空間的な特徴によってあらかじめ決められている。

「前を向きなさい」という発話が、<教師の話聞きなさい>とか、<黒板に書いたことに注目しなさい>といった特定の意味を帯びるのも、このような教室空間の特徴によっている。「前」に立つ人が発するメッセージを、「後」にすわっている人びとが受け取る。教室空間の特徴は、そこでどのようなスタイルのコミュニケーションが行われるのかを前提につくられているのであり、逆にいえば、教室の空間的特徴によって、そこに置かれた人びとのコミュニケーションのあり方に特定のかたちが与えられるということである。

一人の大人が、複数の子どもを相手にメッセージを発し、そのメッセージを子どもたちは、集団として一斉に受け取る。このようなコミュニケーション・スタイルは、多少のバリエーションをもちながらも、私たちが通常慣れ親しんでいる教育という営みの基本的な形式を示している。ひとつの社会がつぎの世代に継承すべき文化を伝達する。若い世代が将来社会の成員として必要になる知識や行動の様式を身に付けさせる。このような目的で行われる、世代間のコミュニケーションのあり方のひとつの様式として、学校の教室という空間では、先に述べたような形式のコミュニケーションが遂行される。

1. 教師が「前を向きなさい」と指示した場合に、生徒が黒板の方を向くのは、教師が教室の「前方」にいることが暗黙の前提となっているからである。
2. 黒板、教卓、机、椅子などの並び方や置かれ方によって、教室の空間的な特徴は様々なスタイルを持ち、特定の意味を帯びてくる。
3. 「前を向きなさい」という教師の発話は、教室以外では、<教師の話聞きなさい>や<黒板に書いたことに注目しなさい>といった意味を持たない。
4. 教室で行われるコミュニケーションが、前方にいる教師から後方にいる生徒へという特定の形を持つのは、教室の空間的な特徴によっている。
5. 教育は、世代間コミュニケーションの一つの様式であり、子どもと大人が向かい合うという教室の空間的特徴によって、文化を伝達しやすくなっている。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

広告をもっとも一般的な条件において規定するなら、それは「商品についての言説(discours)」であるということになる。この規定には二重の意味がある。一つは、広告が需要喚起の観点から「商品」について訴求しており、経済資本の活動に相関していることである。二つは、広告が「言説」であり、さまざまな媒体を通じて、言葉や映像や音楽などの記号により何かを表現し、語っており、社会的なコミュニケーションの活動に相関していることである。重要なのは、広告において経済資本の活動と言説の活動という二つの過程が密接に結びついていることである。広告の言説は資本の活動を通じて人びとの欲望の流れに浸透する。広告の言説は、(a)人びとの欲望の対象として商品を記号化し、意味づけると同時に、(b)そのような記号活動を通じて分節された欲望の〈場〉を、一つの社会的な現実として構成していくのである。

しかしながら、広告が最初からこのような社会現象であったわけではない。広告が顕著に社会性を帯びた現象となるのは、資本と言説という二つの力が合成して「消費社会」という欲望の領域が生まれ出されるときである。欲望は単なる必要の形式ではない。必要の限度を超え、新しい現実を生み出すのが欲望である。資本の力がこのような欲望の流れを触発し、消費の領域をひらいていくとき、そして言説が十分な密度で人びとの欲望のゲームを表現するとき、広告は深い意味で社会的な現象になる。このように欲望のゲームが解き放たれるのは、資本の活動が高度化し、ある「過剰の次元」に到達したときである。資本の営みが単に利潤獲得という合目的性に支配されているとき、欲望は生産の機能的な関数にとどまるからである。

資本の活動を個別に見れば、そこには利潤の獲得・極大化という目的が設定されている。また、社会全体の富という見地からみれば、生産される価値の増大ということが要請されるのかもしれない。だが、現代社会では合理的な基準では測りがたい価値の膨脹や収縮がみられる。また、増殖すべき価値の実体というのも、人間の欲望や労働、倫理とかかわりのないものであったりする。人間学的な基準を超えたシステム全体の膨脹のなかで、資本の活動は一定の合目的性によって規定できず、ゲームと呼ぶしかない過剰な現実性として大きくせりだしているのである。

1. 広告は、もともと需要喚起の観点から単にある商品について訴求するものであったが、人々の欲望に触発され、商品を記号化するものとなった。
2. 広告は、経済資本の活動と言説の活動とに相関しており、資本と言説の力が合わさって、欲望の領域が生まれ出されることで、社会性を帯びた現象となる。
3. 資本の営みが利潤の獲得・極大化という合目的性に支配されると、広告は深い意味で社会的な現象となり、資本の活動が過剰な次元に到達する。
4. 社会全体の富という見地から資本の活動を見ると、人々の欲望は生産の機能的な関数にとどまっており、生産されるべき価値が不明瞭となっている。
5. 資本の活動が、人間の欲望や労働、倫理と関わりのない価値の実体を増殖させ、広告を社会的なコミュニケーション活動に結び付けた。



【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

非線形世界をくまなく探るには限界がある。二点間を結ぶ曲線は無数にあるから、いったん非線形性を許容してしまうと無限の可能性があり、それを全部調べ尽くさないと理解できたことにはならないからだ。しかし、人間が研究を行えるのは部分であり、それだけですべてを代表させることができないのも事実である。私たちは、非線形世界に足を踏み入れられるようになったが、その広大さ、奥深さに圧倒されている状態と言えるだろう。従来から推し進めてきた科学の方法に大きな限界を感じざるを得ない、というのが現状なのではないだろうか。

従来から推し進めてきた科学の方法とは「要素還元主義」のことである。ある現象を目の前にしたとき、その系(システム)を部分(要素)に分け、あるいはより根源的な物質を想定し、それらの反応性や振る舞いを調べて足し合わせれば全体像が明らかになるという手法のことだ。部分の和が全体であり、より根源的な世界では法則はより純粋で単純に立ち現れると考えてきた。そして、原因と結果は一直線で結ばれる、とも。この方法は見事に成功し、ほとんどの科学はこの方法に準拠していると言っても過言ではない。実際、近代科学が成立して以後、科学は要素還元主義でわが世の春を謳歌した。科学は因果関係について明快な答えを出してくれる、という現代の科学信仰の源泉はここにある。

要素還元主義が成功したのは、すべての過程を線形に帰着させることによって問題を簡明化し、その範囲で威力を発揮できたためである。別の言い方をすれば、線形として扱える範囲の問題に限り、非線形の問題は「複雑系」として後回し(当面は取り扱わない)としてきたのだ。科学は成功した顔だけ見せて、成功しない部分は頬かむりしたとも言えよう。しかし、現実には私たちが当面する問題の多くは非線形が重要な役割を果たしている。とはいえ、それはなかなか解けないから、脇においておくしかない。ここにおいて、万能ではない科学をどう考えるのかが問われることになった。

1. 非線形世界をくまなく探るには、根源的な物質を想定し、それらの反応性や振る舞いを調べて足し合わせることで全体像を明らかにしていく必要がある。
2. ある現象の系(システム)を部分(要素)に分けていく科学の方法は、人間が研究を行えるという点において、非線形世界を探る方法とは異なる。
3. 私たちが当面する問題の多くは非線形が重要な役割を果たしており、全ての過程を線形に帰着させてきた要素還元主義には、大きな限界があるように感じられる。
4. 原因と結果が一直線で結ばれると考える要素還元主義は、私たちが科学に対して、因果関係について明快な答えを出すことを期待したために成功した。
5. 非線形の問題を後回しにしてきた科学は、非線形が重要な役割を果たしていることが明らかになったことで、私たちの信仰を失った。

【No. 5】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

正しい直感が生まれるためにはまず、 が必要である。科学者がある問題を長い間にわたって集中的に考えていて、散歩に出かけたときなどに、ふとインスピレーションが湧くことがあるが、これが正しい直感になる場合が多い。よく知らない問題に対する単なる思いつきは幼稚であり、ほとんどの場合に間違える。このような思いつきを奨励することは、発想法の一つとして必ずしも馬鹿げたことではないと思うが、直感とは無縁のものであることを強調しておきたい。

専門の科学者ではなくても、たとえば経験を積んだ開業医が患者の顔色や表情をただけでどこが悪いか見通すとか、将棋のプロが一目で難しい局面の優劣を判断したり、敏腕な刑事が何かちょっとしたことが気になり、これが端緒となって事件が解決するということがよくある。この場合は、長年月の経験から“第六感”が働き、何か手がかりになって“臭い”と感じたわけである。これらの比較的単純な直感は、明らかに帰納や推定、あるいはアナロジーを使っている。

特別な知識に精通することは、その知識が無意識化され、直感の基礎になるのだと思われる。ちょうどスポーツの鍛練によって、筋肉の運動が自動化・無意識化されるように、知能の鍛練は思考を自動化・無意識化すると考えられる。

1. その問題に関わる知識に精通していること
2. 帰納や推定の手法を正しく理解しておくこと
3. あらゆる思考を自動化・無意識化しておくこと
4. 思考を一たび停止して周囲に目を向けてみること
5. 単に知っているだけでなく実際に経験を積んでいること

【No. 6】 次の  の文の後に A～F を並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

カフカの描き出す世界を一言で形容するとすれば、なるほど不条理という言葉が最も適しているかもしれない。だがカフカは、不条理を単に不条理として描出しようとしたわけではない。《中略》身に覚えのないことを、当たり前のことのように思わされてしまうことの不条理なのだ。

A：ところが、人間の記憶のきわめて興味深いところは、それが完全ではないということなのだ。人間は忘れる。

B：人間は一秒一秒、ただ時間のなかを進みながら生きていくだけではない。記憶という特殊な能力を発達させているため、生きた時間を記憶しながら生きていくというひどくややこしいことをする。

C：このように、記憶という危なっかしい能力に頼る人間には、身に覚えのないことでも認めてしまうということが、いくらでもありうるのである。

D：だから、身に覚えのないようなことを言われても、自分の記憶にはないけれども、単に自分が忘れただけのことで、本当はそうなのかもしれない、と考えてしまう。

E：ではどうして身に覚えのないことが、当たり前のことのように思ってしまうのか。それは人間に記憶というものが備わっているからである。

F：たとえば自分の周囲の人全員に、酔っぱらったときの自分の醜態を聞かせられたら、絶対にそんなことはしていないといつまでも言い張ることはできないだろう。

1. B→A→D→E→F→C
2. D→C→B→A→F→E
3. E→B→A→D→F→C
4. E→D→C→A→B→F
5. F→C→E→D→B→A

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The “science communication problem” has yielded abundant new research into how people decide what to believe — and why they so often don’t accept the expert consensus. It’s not that they can’t grasp it, according to Dan Kahan of Yale University. In one study he asked 1,540 Americans, a representative sample, to rate the threat of climate change on a scale of zero to 10. Then he correlated that with the subjects’ science literacy. He found that higher literacy was associated with stronger views — at both ends of the spectrum. Science literacy promoted polarization<sup>\*1</sup> on climate, not consensus. According to Kahan, that’s because people tend to use scientific knowledge to reinforce their worldviews.

Americans fall into two basic camps, Kahan says. Those with a more “egalitarian<sup>\*2</sup>” and “communitarian” mind-set are generally suspicious of industry and apt to think it’s up to something dangerous that calls for government regulation; they’re likely to see the risks of climate change. In contrast, people with a “hierarchical” and “individualistic” mind-set respect leaders of industry and don’t like government interfering in their affairs; they’re apt to reject warnings about climate change, because they know what accepting them could lead to — some kind of tax or regulation to limit emissions.

In the United States, climate change has become a litmus test that identifies you as belonging to one or the other of these two antagonistic<sup>\*3</sup> tribes. When we argue about it, Kahan says, we’re actually arguing about who we are, what our crowd is. We’re thinking: People like us believe this. People like that do not believe this.

Science appeals to our rational brain, but our beliefs are motivated largely by emotion, and the biggest motivation is remaining tight with our peers. “We’re all in high school. We’ve never left high school,” says Marcia McNutt. “People still have a need to fit in, and that need to fit in is so strong that local values and local opinions are always trumping<sup>\*4</sup> science. And they will continue to trump science, especially when there is no clear downside to ignoring science.”

(注) \*1 polarization : 二極化      \*2 egalitarian : 平等主義の      \*3 antagonistic : 対立する  
\*4 trump : ~を負かす

1. 科学的な問題について、専門家間で一致した意見が人々にすぐに受け入れられないのは、その内容が高度であり、理解し難いからである。
2. 科学に関する知識が豊富である人ほど、平等主義的な考え方に疑問を持っており、政府による規制が行き過ぎていると感じている。
3. 調査によれば、米国人には個人主義的な考え方に基づいて行動する人が多く、気候変動に関心を持たない傾向がある。
4. 米国では、気候変動をどのように考えるかによって、考え方が対立している二つの集団のどちらに属しているかが分かる。
5. 科学は、私たちの合理的な精神に訴えかけるため、感情によって信念が左右されたとしても、最終的には、非科学的な意見は排除される。



【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The culture of “time macho” — a relentless competition to work harder, stay later, pull more all-nighters, travel around the world and bill the extra hours that the international date line affords you — remains astonishingly prevalent among professionals today. Nothing captures the belief that more time equals more value better than the cult of billable hours afflicting<sup>\*1</sup> large law firms across the country and providing exactly the wrong incentives for employees who hope to integrate work and family. Yet even in industries that don’t explicitly reward sheer quantity of hours spent on the job, the pressure to arrive early, stay late, and be available, always, for in-person meetings at 11 a.m. on Saturdays can be intense. Indeed, by some measures, the problem has gotten worse over time: a study by the Center for American Progress reports that nationwide, the share of all professionals — women and men — working more than 50 hours a week has increased since the late 1970s. 《中 略》

Long hours are one thing, and realistically, they are often unavoidable. But do they really need to be spent at the office? To be sure, being in the office *some* of the time is beneficial. In-person meetings can be far more efficient than phone or e-mail tag; trust and collegiality<sup>\*2</sup> are much more easily built up around the same physical table; and spontaneous conversations often generate good ideas and lasting relationships. Still, armed with e-mail, instant messaging, phones, and videoconferencing technology, we should be able to move to a culture where the office is a base of operations more than the required locus<sup>\*3</sup> of work.

Being able to work from home — in the evening after children are put to bed, or during their sick days or snow days, and at least some of the time on weekends — can be the key, for mothers, to carrying your full load versus letting a team down at crucial moments. State-of-the-art videoconferencing facilities can dramatically reduce the need for long business trips. These technologies are making inroads, and allowing easier integration of work and family life. Yet our work culture still remains more office-centered than it needs to be, especially in light of technological advances. One way to change that is by changing the “default rules” that govern office work — the baseline expectations about when, where, and how work will be done.

(注) \*<sup>1</sup> afflict : ~を悩ます      \*<sup>2</sup> collegiality : 同僚間の協調・協力関係

\*<sup>3</sup> locus : 場所, 位置

1. 職場に遅くまで残って長時間働くことを評価する傾向は、最近は大幅に改善されているものの、大企業には依然として見られる。
2. 研究によれば、労働時間に見合った報酬が支払われていないという問題は、1970年代後半から深刻化している。
3. 対面形式の会議では、雑談して会議が長引いてしまうことがあるが、メールのやりとりは、効率的で、良いアイデアを生むこともある。
4. 育児中の者は、重要な仕事で責任を果たせるよう、日頃から仕事の量を調整しておく必要がある。
5. 仕事と家庭の両立は、最新のテレビ会議の設備等により行いやすくなっているが、職場にすることがいまだに重視されている。

【No. 9】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

I sit writing this on a bank holiday, one of nine such public holidays we have in Ireland every year. Many of them coincide with religious holidays, such as Christmas Day, but most are bonus holidays that have their origins in the 1870s, when the government — then British — decided banks should close on specific days of the year. This meant businesses would shut too and overworked Victorian labourers would get some well-earned rest. 《中 略》

Sadly, the bank holiday is one of only a few things we have to be grateful for when it comes to the banks, especially in Ireland where people are still counting the cost of the near-collapse of our banking system in 2008.

There are many idioms around banking and finance in English. Many of them get across the idea of trust and security — which is why you put your money in the bank in the first place. When you are “banking on” something, you are depending on it. “You can take that to the bank,” you might be told when being assured of something. Credit itself means trust and when you find something “incredible” it means you don’t believe it — you don’t credit it to be true. Credit in finance is the trust placed in you to pay back money that you’ve borrowed.

Banks borrow money from one another as well, of course, but all that ground to a halt with the “credit crunch” of 2007-2008, when the banks suddenly stopped trusting each other. Much of the banking vocabulary that has crept into English since the global financial crisis centres around mistrust and fear. 《中 略》

Financial institutions were facing huge losses and these “zombie banks” were kept on artificial life support by governments. Many were considered “too big to fail” and what we all believed to be the rules of capitalism were suspended as billions in public funds were pumped into private companies in taxpayer-backed “bailouts.”

The €64 billion rescue of the Irish banks has cost every Irish citizen €9,000 in wage cuts and tax hikes. It’s enough to ruin your bank holiday.

1. 1870年代のアイルランドにおいて、当時の政府は、宗教的な祝日とは別に銀行を休業にする特別な日を設けるべきだとして、年に9日のバンクホリデーを定めた。
2. アイルランドでは、2008年に銀行システムが崩壊寸前となり、銀行の救済のため、公的資金が投入され、それは今も国民の負担となっている。
3. 銀行にまつわる英語のイディオムは信用を表すものが多いが、それらは、世界金融危機により生じた銀行に対する不信や恐れを払拭しようとする動きから生まれた。
4. 世界金融危機による莫大な損失を埋めるため、アイルランドでは、私企業から集めた資金をつぎ込んで新しい銀行システムを構築するという措置が採られた。
5. 世界金融危機以降、多くの銀行が実質破綻し、アイルランド国民は今も預金を自由に引き出すことができないため、せっかくのバンクホリデーも台無しになっている。

【No. 10】 次の  と  の文の間に、ア～エを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

Penguins, like other birds that live in a cold climate, have adaptations to avoid losing too much heat and to preserve a central body temperature of about 40°C.

ア：However, penguins also have ‘counter-current heat exchangers’ at the top of the legs. Arteries<sup>\*1</sup> supplying warm blood to the feet break up into many small vessels<sup>\*2</sup> that are closely allied to similar numbers of venous<sup>\*3</sup> vessels bringing cold blood back from the feet.

イ：Humans can do this too, which is why our hands and feet become white when we are cold and pink when warm. Control is very sophisticated and involves the hypothalamus<sup>\*4</sup> and various nervous and hormonal systems.

ウ：The feet pose particular problems since they cannot be covered with insulation in the form of feathers or blubber, yet have a big surface area (similar considerations apply to cold-climate mammals such as polar bears).

エ：Two mechanisms are at work. First, the penguin can control the rate of blood flow to the feet by varying the diameter of arterial vessels supplying the blood. In cold conditions the flow is reduced, when it is warm the flow increases.

Heat flows from the warm blood to the cold blood, so little of it is carried down the feet.

(注) \*<sup>1</sup> artery：動脈    \*<sup>2</sup> vessel：(血液などを通す)管    \*<sup>3</sup> venous：静脈の  
\*<sup>4</sup> hypothalamus：視床下部

1. ア→イ→ウ→エ
2. ア→ウ→イ→エ
3. ア→ウ→エ→イ
4. ウ→エ→ア→イ
5. ウ→エ→イ→ア

【No. 11】 次の文のア, イに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

Consider your current consumption of milk and wine. Now imagine that two new taxes will be introduced tomorrow. One will cut the price of wine by 50 percent, and the other will increase the price of milk by 100 percent. What do you think will happen? These price changes will surely affect consumption, and many people will walk around slightly happier and with less calcium. But now imagine this. What if the new taxes are accompanied by induced amnesia\* for the previous prices of wine and milk? What if the prices change in the same way, but you do not remember what you paid for these two products in the past?

I suspect that the price changes would  on demand if people remembered the previous prices and noticed the price increases; but I also suspect that without a memory for past prices, these price changes would have a trivial effect, if any, on demand. If people had no memory of past prices, the consumption of milk and wine would , as if the prices had not changed. In other words, the sensitivity we show to price changes might in fact be largely a result of our memory for the prices we have paid in the past and our desire for coherence with our past decisions — not at all a reflection of our true preferences or our level of demand.

(注) \* amnesia : 記憶喪失

ア

イ

- |                          |                                |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. have a tiny influence | increase gradually in number   |
| 2. have a tiny influence | remain essentially the same    |
| 3. make a huge impact    | become exceptionally different |
| 4. make a huge impact    | increase gradually in number   |
| 5. make a huge impact    | remain essentially the same    |



【No. 12】 ある学級の生徒の日々の生活について、次のことが分かっているとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- 夜 10 時以降に就寝している生徒は、自宅学習をしている。
- 遅刻したことがある生徒は、夜 11 時以降に就寝し、かつ朝 7 時以降に起床している。
- 遅刻したことがない生徒は、朝 7 時より前に起床している。

1. 朝 7 時以降に起床している生徒は、自宅学習をしている。
2. 朝 7 時より前に起床している生徒は、夜 11 時より前に就寝している。
3. 自宅学習をしている生徒は、遅刻したことがある。
4. 自宅学習をしていない生徒は、朝 7 時以降に起床している。
5. 遅刻したことがない生徒は、夜 10 時より前に就寝している。

【No. 13】 男性 2 人、女性 3 人の A～E の 5 人の学生が、W～Z の 4 社がそれぞれ行う採用説明会のいくつかに参加した。5 人の学生の参加状況について、各社の採用担当者及び学生が次のように述べているとき、確実にいえるのはどれか。

W社：「弊社の説明会に参加したのは 2 人だった。それらの学生は 2 人とも男性だった。」

X社：「弊社の説明会に参加したのは A, B, E だった。」

Y社：「弊社の説明会に参加した男性は 1 人だった。」

Z社：「弊社の説明会に参加しなかったのは 1 人だった。その学生は男性だった。」

A：「W社の説明会には参加しなかった。」

B：「4 社全ての説明会に参加した。」

C：「Y社の説明会には参加した。」

D：「1 社の説明会にのみ参加した。」

E：「3 社の説明会に参加した。」

1. X社の説明会には男性が 2 人参加した。
2. Y社の説明会に参加したのは 3 人だった。
3. Cは 1 社の説明会にのみ参加した。
4. Dは Z社の説明会に参加した。
5. Eは女性だった。

【No. 14】 ある地域の運動会で、赤、白、青、黄、桃の五つの異なる組にそれぞれ所属している A～E の 5 人が、借り物競走に出場した。5 人は同時にスタートし、途中の地点で、借り物を指示する 5 枚のカードから 1 枚ずつ選び、指示された物を借りてきてゴールに向かった。借り物を指示するカードには、「軍手」「たすき」「なわとび」「マイク」「帽子」の 5 種類が 1 枚ずつあった。5 人が次のように述べているとき、確実にいえるのはどれか。なお、同時にゴールした者はいなかった。

A：「私がゴールしたときにまだゴールしていなかったのは、白組と桃組の走者の 2 人だった。」

B：「私の 2 人前にゴールしたのは赤組の走者で、軍手を借りていた。」

C：「私の直後にゴールした走者は、たすきを借りていた。」

D：「私の直前にゴールしたのは黄組の走者で、帽子を借りていた。」

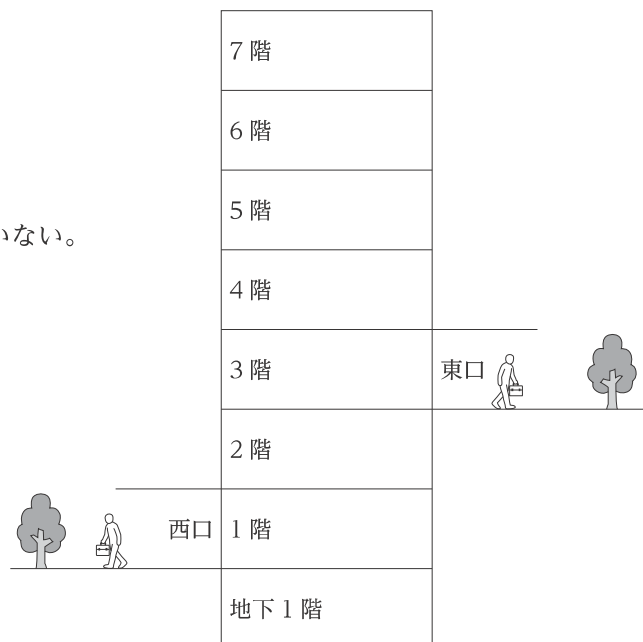
E：「指示されたなわとびを探すうちに、2 人以上の走者が先にゴールしたが、私がゴールしたのは最後ではなかった。」

1. A は帽子を借りた。
2. B はたすきを借りた。
3. C は軍手を借りた。
4. D は青組だった。
5. E は桃組だった。

【No. 15】 図のように，1階に西口，3階に東口を有する地下1階，地上7階のオフィスビルがある。A～Gの7人は，このオフィスビルの異なる階にそれぞれ勤務しており，出勤時，退勤時には，東口，西口のいずれかを利用する。次のことが分かっているとき，確実にいえるのはどれか。

- A～Gは，3階分以上昇るとき，又は，4階分以上降りるときはエレベーターを使い，それ以外の昇降には階段を使う。また，出勤時に東口を利用する人は3人，退勤時に東口を利用する人は4人いる。
- Aは，出勤時，退勤時共に西口を利用し，いずれもエレベーターを使う。また，Aは，Cより下の階で勤務している。
- Bは，出勤時，退勤時共に同じ出入口を利用し，いずれもエレベーターは使わない。
- Cは，退勤時に東口を利用し，出勤時にはエレベーター，退勤時には階段を使う。
- Dは，出勤時，退勤時に異なる出入口を利用し，出勤時には階段，退勤時にはエレベーターを使う。
- Eは，出勤時，退勤時共に西口を利用し，出勤時にはエレベーター，退勤時には階段を使う。
- Fは，出勤時，退勤時共に東口を利用し，いずれも階段，エレベーターは使わない。
- Gは，出勤時に東口を利用し，出勤時には階段を使うが，退勤時には階段もエレベーターも使わない。

1. Aは6階で勤務している。
2. BはFより上の階で勤務している。
3. CはEの一つ上の階で勤務している。
4. Dは地下1階で勤務している。
5. 2階には，A～Gのいずれも勤務していない。



【No. 16】 A～Fの6人は友人どうしで、カイロ、デリー、バンコク、ブエノスアイレス、ベルリン、ロンドンの6か所の異なる都市にそれぞれ住んでいる。この6人の居住地や、ある期間におけるこの6人の間でのメールの送受信の状況について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- AとBはヨーロッパに、DとEはアジアに住んでいる。
- Aは、Aにメールを送信した友人以外の全員にメールを送信した。
- Bは、カイロに住んでいる友人を含め計3人にメールを送信した。また、Bがメールを送信した友人のうち、Dのみからメールを受信した。
- Cは、アジアに住んでいる友人1人にメールを送信した。また、ヨーロッパに住んでいる友人1人からメールを受信した。
- Dは、ヨーロッパに住んでいる友人2人とアジアに住んでいる友人1人の計3人にメールを送信した。また、ベルリンに住んでいる友人を含め、計2人からメールを受信した。
- Eは誰にもメールを送信しなかった。また、C以外の全員からメールを受信した。
- Fは、ロンドンに住んでいる友人とバンコクに住んでいる友人の計2人にメールを送信した。また、ベルリンに住んでいる友人からメールを受信した。

1. Aはロンドンに住んでおり、Bからメールを受信した。
2. Bはベルリンに住んでおり、Fにメールを送信した。
3. Cはカイロに住んでおり、Bからメールを受信した。
4. Dはバンコクに住んでおり、Eにメールを送信した。
5. Fはブエノスアイレスに住んでおり、Aからメールを受信した。

【No. 17】 A～Gの7人が8 kmのハイキングコースを歩いた。このコースには、スタート地点から1 kmごとに1番目から7番目までの休憩の取れる地点が設置されていた。各人の休憩を取った状況について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

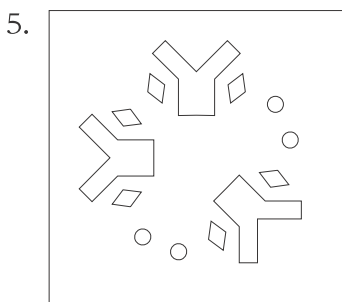
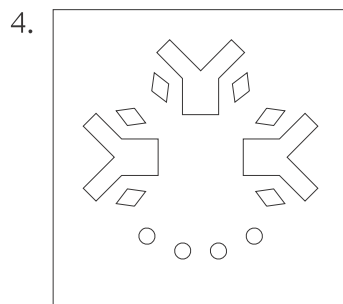
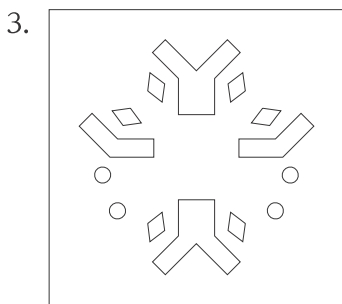
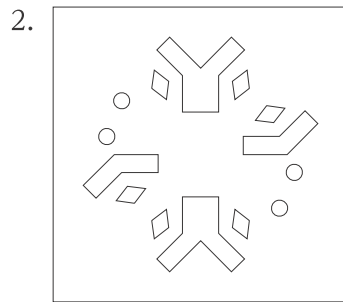
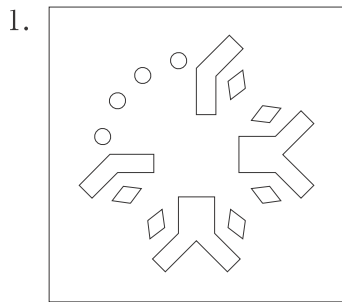
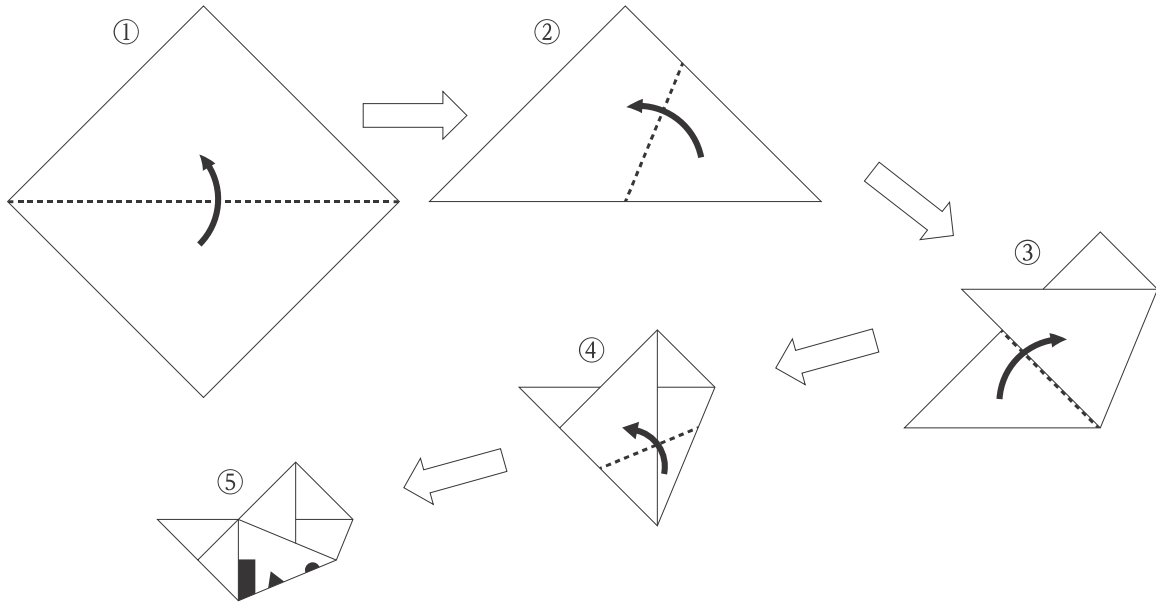
ただし、A～Gはコースを戻ることにはなかったものとする。

- 各人はちょうど三つの地点で休憩を取った。7人のうち、いずれの2人をみても、休憩を取った三つの地点のうち、一つの地点だけが一致した。
- 休憩を取った地点が三つ連続したのはAのみであった。
- AとBが最初に休憩を取った地点は1番目であった。また、Bが最後に休憩を取った地点は5番目であった。
- Cが休憩を取った地点は一つ置きであった。また、Cが最後に休憩を取った地点は6番目で、Fもその地点で休憩を取った。
- Dが最初に休憩を取った地点と次に休憩を取った地点とは連続していた。
- Eが休憩を取った地点は、いずれも連続していなかった。

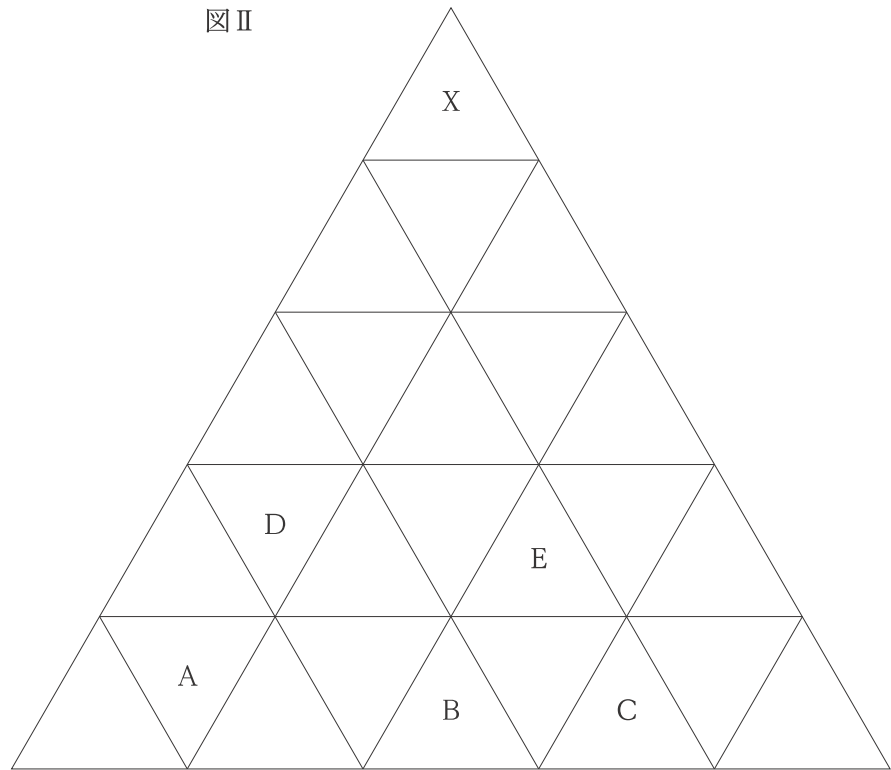
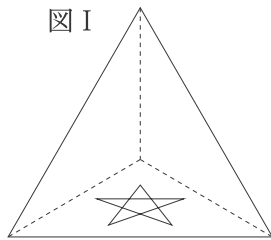
1. Cは3番目の地点で休憩を取った。
2. Dは5番目の地点で休憩を取った。
3. Eは4番目の地点で休憩を取った。
4. Fは1番目の地点で休憩を取った。
5. Gは6番目の地点で休憩を取った。



【No. 18】 図のように，正方形の紙を破線部分で4回折り，⑤の着色部分を切り取って除いた。  
残った部分を広げたときの形として最も妥当なのはどれか。



【No. 19】 図 I のような底面にのみ模様のある正四面体があり、また、図 II のような正四面体の一面と同じ大きさのタイルが敷き詰められた床がある。この床の A ~ E のいずれかの場所に、模様のある面を底面としてタイルと底面とが合わさるように正四面体を置いた。正四面体の辺を軸として床の上を滑ることなく回転させ、これを繰り返すと、X で正四面体の模様のある面が底面となった。このとき、最初に正四面体を置いた場所として最も妥当なのはどれか。



1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

【No. 20】 図 I のように、6 個の LED 電球が取り付けられているパネルが 3 枚ある。スイッチを入れると 6 個の LED 電球のうち、パネル 1 では 1 個が、パネル 2 では 2 個が、パネル 3 では 3 個がそれぞれ無作為に点灯することが分かっている。

いま、各パネルの点灯状態によって数字を割り当てることとして、図 II のように、各パネルの点灯状態と 0 ~ 9 の数字を対応させる。このとき、スイッチを入れ、パネル 1、パネル 2、パネル 3 を点灯させると、3 枚全てのパネルに数字が割り当てられて 3 桁の数となり、かつ、3 の倍数となる確率はいくらか。

ただし、3 枚のパネルの並び順は図 I の状態で固定し、パネルを裏返したり、回転させたりしないものとする。また、各パネルは、図 II に示した点灯状態以外の場合は、数字の割当てがなかったものとする。

図 I

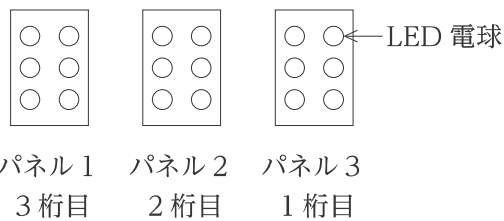
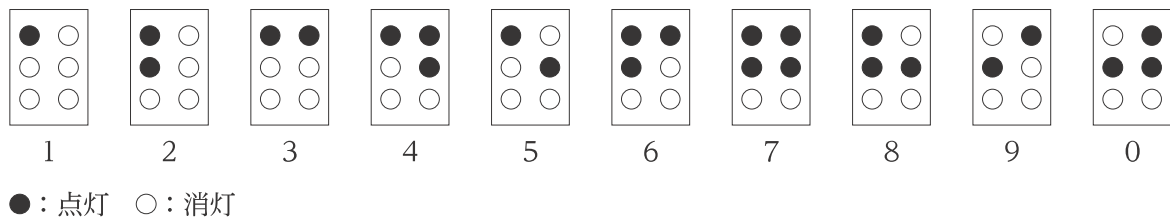
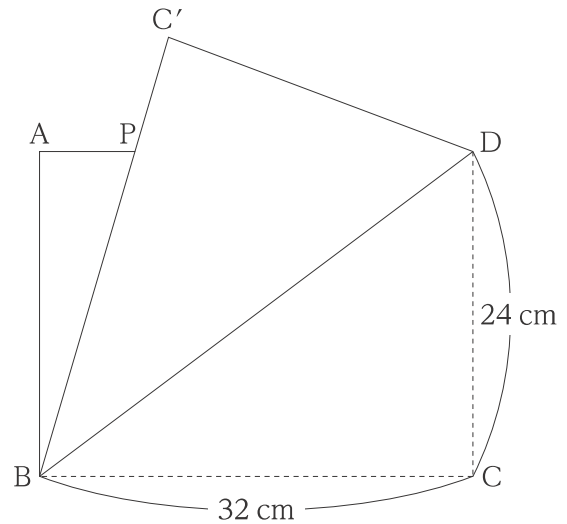


図 II



1.  $\frac{1}{120}$
2.  $\frac{1}{180}$
3.  $\frac{1}{240}$
4.  $\frac{1}{300}$
5.  $\frac{1}{360}$

【No. 21】 図のように、縦 24 cm、横 32 cm の長方形 ABCD を対角線 BD で折って、点 C の移った点を点 C' とする。辺 AD と辺 BC' の交点を点 P としたとき、線分 AP の長さはいくらか。



1. 6 cm
2.  $4\sqrt{3}$  cm
3. 7 cm
4. 8 cm
5.  $5\sqrt{3}$  cm

【No. 22】 大、中、小の三つのサイズの莢まげがあり、大サイズの莢には豆が 5 粒、小サイズの莢には豆が 3 粒入っている。また、中サイズの莢には豆が 4 粒又は 5 粒入っているが、その数は莢を開いてみなければ分からない。

いま、A～D の 4 人がそれぞれいくつかの莢を取り、その莢から豆を取り出して、自分の年齢の数だけ豆を集めることとした。各人が次のように述べているとき、4 人の年齢の合計はいくつか。

A：「大サイズの莢を 2 個、中サイズの莢を 2 個、小サイズの莢を 2 個取ったところ、自分の年齢と同じ数の豆が入っていた。」

B：「中サイズの莢を 4 個取ったところ、自分の年齢より 4 粒多く豆が入っていた。また、4 個の莢のうち少なくとも 1 個には、豆が 5 粒入っていた。」

C：「自分の年齢は A と B の年齢の合計と同じである。1 個だけ小サイズの莢を取り、残りは大サイズの莢を取ったところ、自分の年齢と同じ数の豆が入っていた。」

D：「私は、B より 2 歳年上である。小サイズの莢を 5 個以上取ったところ、自分の年齢と同じ数の豆が入っていた。」

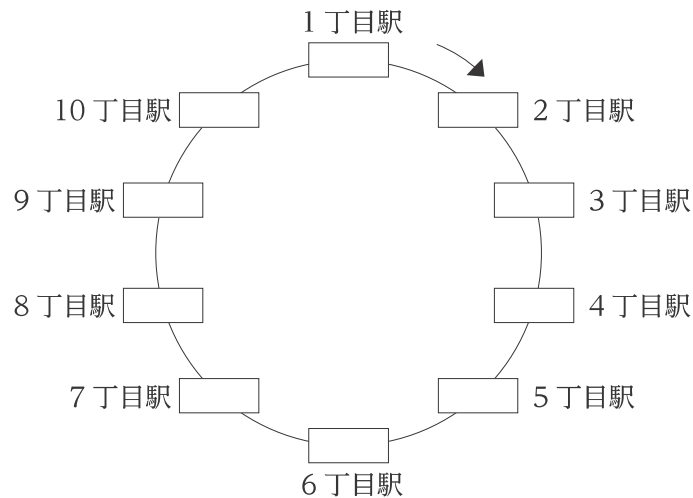
1. 91
2. 92
3. 93
4. 94
5. 95

【No. 23】 図のような環状線があり，以下のルールで列車が運行している。Aは，1丁目駅を午前6時00分発の普通列車に乗って出発し4丁目駅に向かったが，乗り過ぎてしまい気付いたときには，Aの乗った列車が最初に5丁目駅を過ぎたところだった。この後，Aが4丁目駅に向かうとすると，4丁目駅に最も早く着くのはいつか。

ただし，乗換えの時間は考慮しないものとする。

[ルール]

- 環状線は1周100kmで，図のように1丁目駅～10丁目駅の10駅が等間隔にある。
- 環状線は，普通列車，急行列車がそれぞれ独立に専用の線路を時計回りにのみ走行している。
- 普通列車は時速60kmで走行し，各駅に停車する。
- 急行列車は時速120kmで走行し，1丁目駅，3丁目駅，5丁目駅，7丁目駅，9丁目駅にのみ停車する。
- 各列車の速さは停車時を除き常に一定であり，駅での停車時間はいずれの列車も2分間である。
- 普通列車は5分ごと，急行列車は20分ごとに運行しており，午前5時00分にそれぞれの始発列車が1丁目駅を同時に出発する。



1. 午前7時48分
2. 午前7時52分
3. 午前7時56分
4. 午前8時00分
5. 午前8時04分



【No. 24】 ある出版社では、絶版となった書籍A～Dについて、復刊希望の投票を2週間受け付けた。投票1回につき、A～Dのうちのいずれか一つに投票するものとして、投票結果が次のとおりであったとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、投票は全て有効であったものとする。

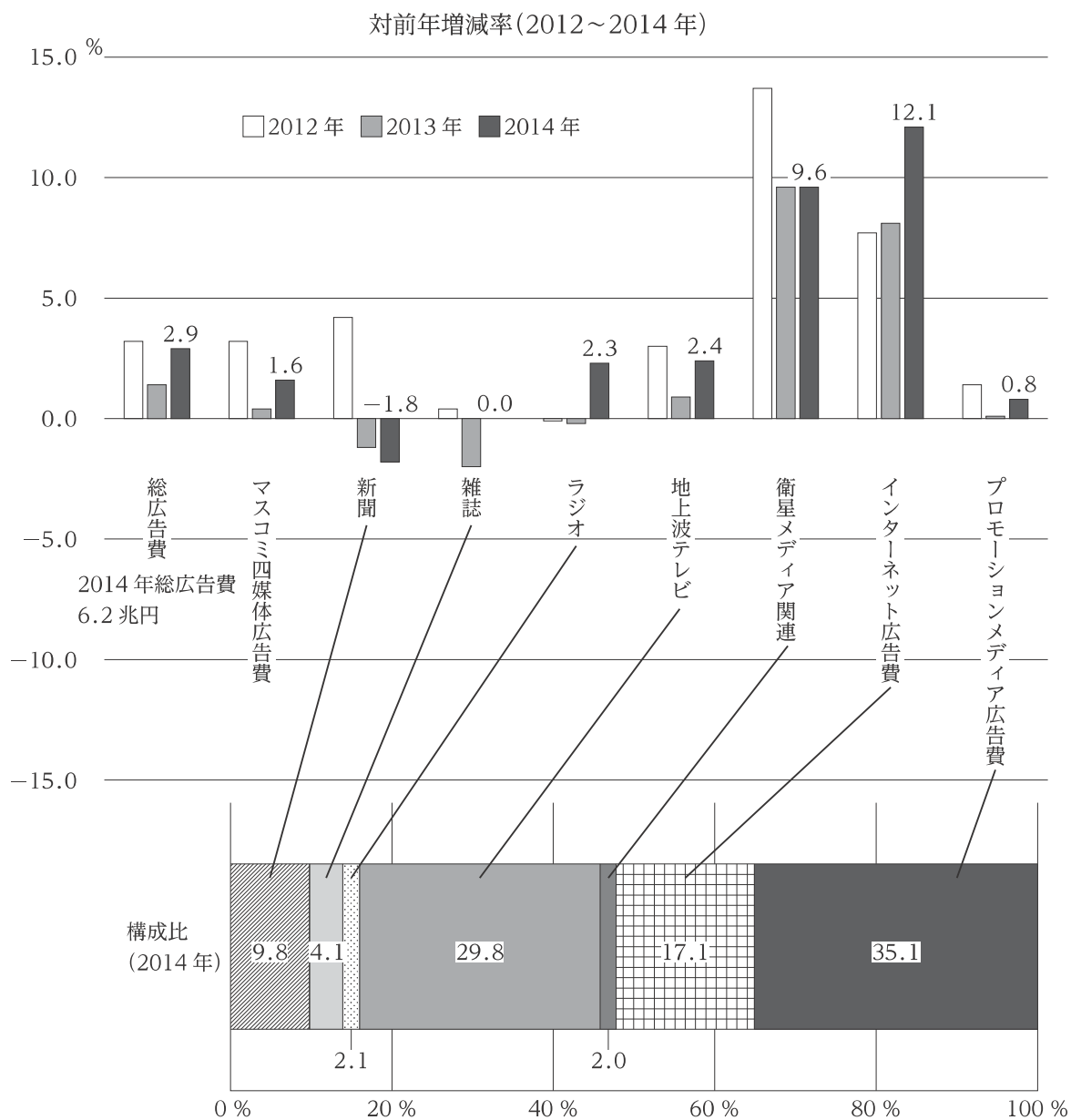
○ 1週目の投票数は2,500で、その得票割合は、Aが20%、Bが50%、Cが10%、Dが20%であった。

○ 2週目の得票数は、AとBとの差が2,000以上であり、CとDとの差が4,000以下であった。

○ 2週間を通した得票割合は、Aが30%、Bが20%、Cが40%、Dが10%であった。

1. 2週目のAの得票割合は、40%であった。
2. 2週目のBの得票割合は、10%であった。
3. 2週目のCの得票割合は、50%であった。
4. 2週間を通したDの得票数は、1,250であった。
5. 2週間を通した投票数は、15,000であった。

【No. 25】 図は、ある国の広告費について、3年分の対前年増減率及び2014年の構成比を媒体別に示したものである。これから確実にいえるのはどれか。なお、マスコミ四媒体の内訳は、新聞、雑誌、ラジオ、テレビメディア(地上波テレビ、衛星メディア関連)である。



1. 2014年の総広告費に占めるマスコミ四媒体広告費の割合は、前年のそれに比べて小さい。
2. 2014年の新聞広告費は、2011年のそれと比べ、5%以上減っている。
3. 2014年の衛星メディア関連広告費の対前年増加額は、地上波テレビのそれを上回っている。
4. 2013年の総広告費に占めるプロモーションメディア広告費の割合は、35%未満である。
5. 2012年以降、各年のインターネット広告費は、1兆円を超えている。

【No. 26】 表は、全国及び全国を 10 地域に分けたうちの 1 地域である北海道における、平成 26 年の生乳の用途別処理量について示したものである。これから確実にいえるのはどれか。

地域	処理内訳	実数 (千トン)	用途別割合 (%)	対前年比 (%)
全国	生乳処理量 計	7,334	100.0	97.7
	牛乳等向け	3,911	53.3	98.4
	うち 業務用向け	305	4.2	99.6
	乳製品向け	3,364	45.9	96.8
	うち チーズ向け	498	6.8	102.5
	クリーム等向け	1,320	18.0	103.0
	その他向け	59	0.8	102.8
北海道	生乳処理量 計	3,488	100.0	98.1
	牛乳等向け	541	15.5	102.2
	うち 業務用向け	66	1.9	97.5
	乳製品向け	2,917	83.6	97.2
	うち チーズ向け	491	14.1	102.4
	クリーム等向け	1,213	34.8	103.0
	その他向け	31	0.9	107.6

(注) 四捨五入の関係により生乳処理量の合計が計に一致しない場合がある。

1. 平成 25 年の「チーズ向け」処理量が 2 千トン以上の地域は、全国の 10 地域のうち 5 地域以上ある。
2. 北海道の「乳製品向け」処理量の用途別割合は、平成 26 年の方が平成 25 年よりも大きい。
3. 北海道以外の 9 地域における「牛乳等向け」処理量の合計は、平成 26 年の方が平成 25 年よりも多い。
4. 平成 26 年の「クリーム等向け」処理量は、北海道で全国の 95 % を占めており、北海道以外ではその処理量が 0 トンの地域もある。
5. 平成 26 年の「牛乳等向け」処理量の用途別割合が 80 % を超えている地域は、全国の 10 地域のうち 1 地域以上ある。

【No. 27】 表と図は、6歳未満の子どもを対象にした、チャイルドシート使用状況調査の結果を示したものである。これらから確実にいえるのはどれか。

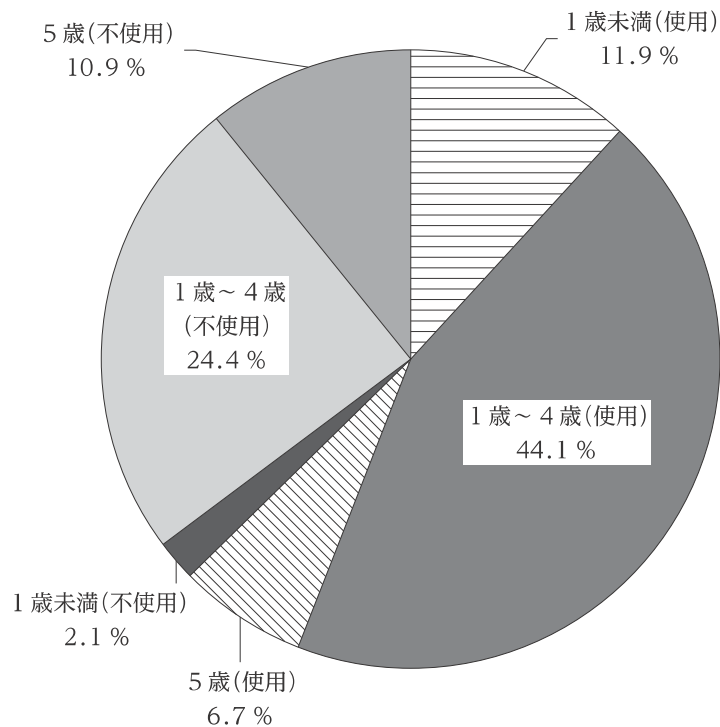
表 チャイルドシート使用状況

(単位：人)

総数	チャイルドシート使用	計	チャイルドシート不使用			
			車両シートにそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルト着用	保護者の抱っこ
13,084	8,198	4,886	2,709	518	948	711
		(うち、チャイルドシートはあるのに不使用 593)				

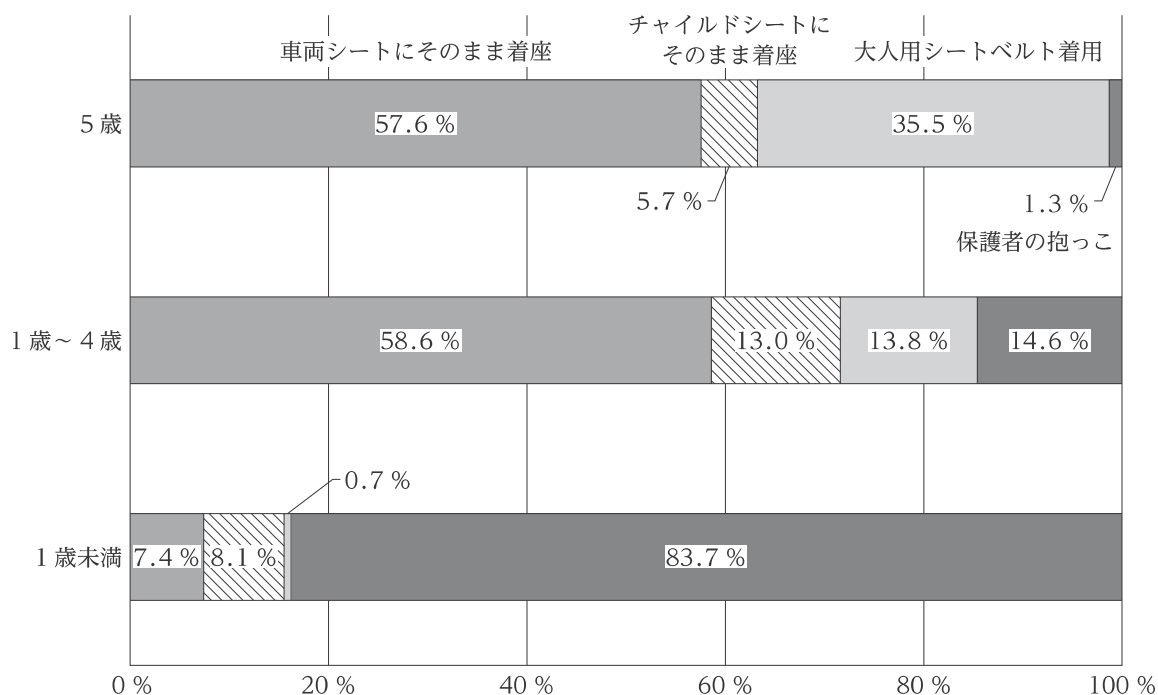
(注) 「チャイルドシート不使用」には、チャイルドシートの適切でない使用を含む。

図 I 年齢層別チャイルドシート使用状況



(注) 四捨五入の関係により構成比の合計が100%にならない。

図Ⅱ 年齢層別チャイルドシート不使用時の状況



(注) 四捨五入の関係により構成比の合計が100%にならない場合がある。

1. チャイルドシート使用の「1歳～4歳」の子どもの人数は、6,000人以上である。
2. いずれの年齢層についてみても、チャイルドシート使用の子どもがその年齢層の子どもに占める割合は、50%以上である。
3. チャイルドシート不使用の子どものうち、「1歳未満」かつ「保護者の抱っこ」である子どもの人数は、200人以上である。
4. チャイルドシートがなく不使用である子どもが調査対象の子ども全体に占める割合は、40%以上である。
5. 「5歳」かつ「大人用シートベルト着用」である子どもが調査対象の子ども全体に占める割合は、5%以上である。

【No. 28】 我が国の教育政策等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 中学校夜間学級(夜間中学)とは、義務教育を修了したものの学び直しの機会を求める人のために設けられた特別の学級である。平成 26 年の文部科学省による調査の結果、高齢者を中心に設置の要望が高いことが判明したため、国は、各都道府県に 1 校しかない公立の夜間中学を増やす方針を示した。
2. 教育委員会とは、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関である。平成 27 年 4 月からは、教育行政の責任体制を明確化するため、教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者である「教育長」を置くこととされた。
3. 学習指導要領は、教育課程を編成する際の基準であり、どの学校でも一定水準の教育を受けられるよう、都道府県ごとに定められている。平成 30 年度からの新学習指導要領では「キャリア教育」が高等学校における教科として実施されることとなった。
4. 教科書検定とは、都道府県の教育委員会が各学校で教科書として使用するか否かを審査する制度である。教科書検定は、学習指導要領の改訂に合わせて行われており、平成 27 年には、検定基準が改正され、新たに「デジタル教科書」についても検定の対象となった。
5. いじめとは、「学校内において、自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じていると学校がその事実を確認しているもの」をいう。平成 27 年のいじめ防止対策推進法で、いじめの定義が明確にされるとともに、不登校の児童・生徒に対する支援策も規定された。

【No. 29】 我が国における地方活性化等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 新幹線の開業は、交通利便性の向上に加え、大きな経済波及効果を期待できる。平成 20 年の九州新幹線、平成 24 年の東北新幹線の全区間の開業に続き、平成 27 年、北陸新幹線が開業した。新幹線の整備計画が決定されてから 40 年以上を経ての金沢開業であり、これにより、整備新幹線の全区間が完成した。
2. ふるさと納税とは、自分の選んだ地方公共団体に寄附を行った場合に、通常の寄附金に対する控除に加えて特別な控除が受けられる制度である。平成 27 年度税制改正において、控除の限度額が引き上げられたほか、確定申告の不要な給与所得者等がふるさと納税を行う場合、控除に関する手続を簡素にする「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設された。
3. 住民基本台帳ネットワークシステムに代わり、平成 28 年から導入されたマイナンバー制度は、日本国籍を持つ者を対象に、1 人 1 番号を都道府県知事が指定する制度である。地方公共団体では、戸籍や税に関する個人情報とマイナンバーとを関連付けて、効率的に情報の管理を行えるようになった。
4. 平成 26 年度の一般会計予算には、地方創生交付金が計上され、プレミアム付き商品券の発行、しごとづくり、観光振興、子育てなど、幅広い分野で活用された。このうち、地域内での消費喚起を目的としたプレミアム付き商品券は、初めての試みであり、全国の地方公共団体で 15 歳以下の子どもがいる家庭に配布された。
5. 地方公共団体の住民が意思決定を行う仕組みの一つに、住民投票条例に基づく住民投票があり、平成 27 年度には、大阪市で特別区設置住民投票が行われたほか、一部の市町村で図書館の民営化に関する住民投票が行われた。これらの住民投票では、選挙権年齢の引下げに伴い、18 歳以上の者による投票が行われた。

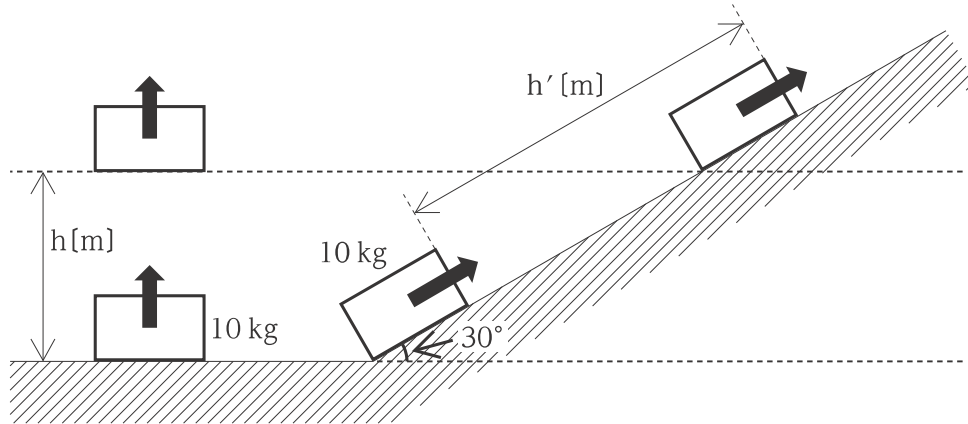
【No. 30】 我が国の医療等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 平成 26 年、世界で初めて、患者自身の皮膚細胞から作製した iPS 細胞を目の細胞に分化させて移植する手術が行われた。iPS 細胞は、受精卵(胚)の中にある細胞を取り出して培養する ES 細胞とは異なり、受精卵(胚)を損なうという倫理的な問題がないとされている。また、患者自身の細胞を利用すると、拒絶反応の問題を回避できるとされている。
2. 平成 27 年、マラリアに対する有効な新薬の発見に対して、日本人がノーベル生理学・医学賞を受賞した。新薬について、我が国では、その発見から承認までにかかる時間が長く、ドラッグ・ラグと呼ばれる社会問題が生じていたが、平成 26 年の医療法の改正により、承認審査期間は 1 年を上限とすると定められた。
3. 危険ドラッグとは、治療を目的に使用される麻酔薬や薬局で販売される化学薬品などとは異なり、健康被害をもたらすおそれのある指定薬物のことである。平成 26 年の麻薬取締法の改正により、販売等停止命令の対象となる物品が拡大され、取締りが強化されたものの、危険ドラッグ販売の実店舗数は増加傾向にある。
4. 後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するとして使用が推進されている。平成 26 年の薬事法の改正により、後発医薬品を含む一般用医薬品のインターネット販売が認められることとなり、その販売に際しては、「電子お薬手帳」の交付が条件となっている。
5. 2000 年代に入り、我が国における死因の第一位が悪性新生物(がん)となったことから、がんの罹患率及び死亡率の減少を目指す取組が進められている。我が国のがん検診受診率は、40 歳以上で既に約 8 割となっているが、平成 26 年の「がん対策推進基本計画」の中で、がん検診の受診が 20 歳以上の成人に対して義務付けられることとなった。



【No. 31】 次は、物体に加える力がする仕事に関する記述であるが、A, B, Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、重力加速度の大きさを  $10 \text{ m/s}^2$  とする。



「図のように、10 kg の物体をある高さ  $h$  [m] までゆっくりと引き上げることを考える。傾斜角  $30^\circ$  の滑らかな斜面に沿って物体を引き上げる場合、物体を真上に引き上げる場合に比べて、必要な力を小さくすることができるが、物体を引き上げる距離は増加する。

このとき、物体を真上に引き上げたときの仕事  $W$  及び斜面に沿って引き上げたときの仕事  $W'$  は、それぞれ次のように表すことができ、 $W = W'$  となる。

$$W = \boxed{A} \text{ [N]} \times h \text{ [m]}$$

$$W' = \boxed{B} \text{ [N]} \times h' \text{ [m]}$$

また、図の斜面の傾斜角を  $60^\circ$  とすると、斜面に沿って物体を引き上げるのに必要な力は、 $\boxed{C}$  [N] となる。

このように斜面を用いることで、必要な力の大きさを変化させることができるが、仕事は変化しない。」

	A	B	C
1.	100	50	$50\sqrt{2}$
2.	100	50	$50\sqrt{3}$
3.	100	$50\sqrt{2}$	$50\sqrt{3}$
4.	200	100	$100\sqrt{3}$
5.	200	$100\sqrt{2}$	$100\sqrt{3}$

【No. 32】 取扱いに注意することが必要な物質に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 塩化水素は、工業的には塩素と水素を直接反応させて得られる無色・刺激臭の気体であり、プラスチックの原料である塩化ビニルの製造などに用いられる。濃塩酸の蒸気は塩化水素であり、有毒なので、吸い込まないようにする必要がある。
2. 赤リンと黄リンは、同じ元素から成る単体で性質が異なる。赤リンは、毒性が有り、空气中で自然発火するので、水中に保存する必要があるが、黄リンは、毒性は少なく化学的に安定しており、マッチなどに使用されている。
3. リチウムは、銀白色の軟らかい金属であり、水と激しく反応して水素を発生するため、湿気の少ない冷暗所に保存する必要がある。また、イオン化傾向の小さいリチウムを利用した電池は、小型で高性能であり、携帯電話などの電子機器に使用されている。
4. 水銀は、融点が高く、常温で液体の金属であり、水銀とスズの合金は、ブリキと呼ばれ、缶詰などに利用される。水銀の単体や化合物は毒性を示すものが多く、水俣病や四日市ぜんそく等の原因となった。
5. メタノールとエタノールは、無色で毒性の有る液体であり、火気のない所で保存する必要がある。また、メタノールとエタノールは、カルボキシ基を持ち、分子間で水素結合を生じることから、分子量が同じ程度の他の炭化水素よりも融点や沸点が低い。

【No. 33】 遺伝の法則に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. メンデルの遺伝の法則には、優性の法則、分離の法則、独立の法則があり、そのうち独立の法則とは、減数分裂によって配偶子が形成される場合に、相同染色体がそれぞれ分かれて別々の配偶子に入ることをいう。
2. 遺伝子型不明の丸形(優性形質)の個体(AA 又は Aa)に劣性形質のしわ形の個体(aa)を検定交雑した結果、丸形としわ形が 1 : 1 の比で現れた場合、遺伝子型不明の個体の遺伝子型は Aa と判断することができる。
3. 純系である赤花と白花のマルバアサガオを交配すると、雑種第一代( $F_1$ )の花の色は、赤色 : 桃色 : 白色が 1 : 2 : 1 の比に分離する。このように、優劣の見られない個体が出現する場合があります、これは分離の法則の例外である。
4. ヒトの ABO 式血液型について、考えられ得る子の表現型(血液型)が最も多くなるのは、両親の遺伝子型が AO・AB の場合又は BO・AB の場合である。また、このように、一つの形質に三つ以上の遺伝子が関係する場合、それらを複対立遺伝子という。
5. 2組の対立遺伝子 A, a と B, b について、A は単独にその形質を発現するが、B は A が存在しないと形質を発現しない場合、B のような遺伝子を補足遺伝子といい、例としてカイコガの繭の色を決める遺伝子などが挙げられる。

【No. 34】 江戸幕府が行った政策に関する記述A～Eを古いものから年代順に並べ替えたとき、2番目と4番目に来るものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：旧里帰農令を出して都市に流入した農村出身者の帰村を奨励するとともに、村からの出稼ぎを制限して農村人口の確保に努めた。また、飢饉対策として各地に社倉や義倉を設置し、囲米を行った。

B：一国一城令を出して、大名の居城を一つに限り、それ以外の領内の城を破壊させた。さらに武家諸法度を制定し、大名の心構えを示すとともに、城の新築や無断修理を禁じ、大名間の婚姻には許可が必要であるとした。

C：都市や農村の商人・手工業者の仲間組織を株仲間として広く公認し、引換えに運上・冥加金などを納めさせた。また、銅座・人参座などの座を設けて専売制を実施した。金貨の単位で表された計数銀貨である南鐐二朱銀を大量に鑄造し、金銀相場の安定に努めた。

D：町人の出資による新田開発を奨励し、年貢を増徴するため、その年の作柄から年貢率を定める検見法を改めて、一定の税率で徴収する定免法を採用した。また、財政難の下で人材を登用するため足高の制を定めた。

E：武道のみならず忠孝の道德と礼儀を守るよう大名らに求めた。また、武家に対して忌引を定めた服忌令を、民衆に対して犬や鳥獣の保護を命じた生類憐みの令を出した。江戸湯島に聖堂を建て、儒学を奨励した。

	2番目	4番目
1.	B	A
2.	B	C
3.	D	A
4.	D	E
5.	E	C

【No. 35】 16世紀から17世紀にかけてのヨーロッパに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. イギリスでは、国王の権威を重んじるトーリー党と、議会の権利を主張するホイッグ党が生まれた。国王ジェームズ2世がカトリックの復活を図り、専制政治を強めると、両党は協力して、王女メアリとその夫のオランダ総督ウィレムを招いて王位に就けようとした。
2. フランスでは、ルイ14世が即位し、リシュリューが宰相となって国王の権力の強化に努めた。それに不満を持った貴族がフロンドの乱を起こした。国内の混乱は長期化し、ルイ14世が親政を始める頃にはフランスの王権は形骸化していた。
3. 神聖ローマ帝国内に大小の領邦が分立していたドイツでは、ハプスブルク家がオーストリア領ベーメン(ボヘミア)のカトリック教徒を弾圧し、それをきっかけに百年戦争が起こった。その後、ウェストファリア条約によって戦争は終結した。
4. スペインは、フェリペ2世の下で全盛期を迎えていたが、支配下にあったオランダが独立を宣言した。イギリスがオランダの独立を支援したため、スペインは無敵艦隊(アルマダ)を送り、イギリス艦隊を撃滅し、オランダ全土を再び支配下に置いた。
5. ロシアは、ステンカ=ラーズンによる農民反乱が鎮圧された後に即位したイヴァン4世(雷帝)の下で、軍備の拡大を背景にシベリア経営を進め、中国の清朝とネルチンスク条約を結び、清朝から九竜半島を租借した。

【No. 36】 世界の大地形に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. オーストラリア大陸のようなプレートの境界に当たる地域を変動帯といい、火山や断層が多く、地殻変動が活発である。一方、南アメリカ大陸のような安定大陸は、地殻変動の影響を受けないため地震や火山活動はほとんどなく、新たに変動帯になることはない。
2. プレートどうしが反対方向に分かれて離れていく境界は「広がる境界」と呼ばれ、主に陸上にあり、アフリカ大陸のサンアンドレアス断層に代表される。そのような断層の周辺では何度も大きな地震が起きている。
3. 海洋プレートが大陸プレートの下に潜り込むと海底には海嶺が形成され、これが長期間かけて陸上に隆起すると、弧状列島という弓なりの島列や火山列が形成される。ハワイ諸島はその典型例であり、キラウエア山などでは火山活動が活発である。
4. 大陸プレートどうしがぶつかり合うと、一方が他方に向かってのし上がる逆断層が生じたり、地層が波状に曲がる褶曲が起きたりする。これらにより、ヒマラヤ山脈やアルプス山脈のような高く険しい山脈が作られる。
5. 二つのプレートが互いに異なる方向にすれ違う「ずれる境界」では、正断層が生まれ、活断層による大規模な地震が頻発する。アイスランド島では、プレートの「ずれる境界」に沿ってトラフと呼ばれる裂け目ができ、線状噴火を起こす火山が見られる。

【No. 37】 次は、我が国の近代思想に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

- 明治期の思想家である  は、ルソーの『社会契約論』を翻訳し、『民約訳解』として出版した。そこに示された主権在民の原理や抵抗権の思想は、自由民権運動に新たな理論的基礎を与える役割を果たした。
- 夏目漱石は、「日本の現代の開化は外発的である」と述べ、西洋のまねを捨て自力で自己の文学を確立しようと決意した。晩年には、自我の確立とエゴイズムの克服という矛盾に苦闘し、 の境地に到達したといわれている。
- 西田幾多郎は、 において、主観(認識主体)と客観(認識対象)との二元的対立から始まる西洋近代哲学を批判し、主観と客観とが分かれていない主客未分の経験を純粹経験と呼んだ。
- 大正期には大正デモクラシーと呼ばれる自由主義・民主主義的運動が展開された。 は、民本主義を主張し、主権が天皇にあるのか国民にあるのかを問わず、主権者は主権を運用するに際し、国民の意向を尊重し、国民の利益と幸福を目的としなければならないとした。

	A	B	C	D
1.	中江兆民	則天去私	『善の研究』	吉野作造
2.	中江兆民	諦念	『善の研究』	美濃部達吉
3.	中江兆民	諦念	『倫理学』	吉野作造
4.	内村鑑三	則天去私	『倫理学』	美濃部達吉
5.	内村鑑三	諦念	『善の研究』	吉野作造

【No. 38】 我が国における情報の管理・保護に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 個人情報保護法は、個人情報取扱事業者が個人情報を取り扱う場合は、その利用の目的をできる限り特定することを義務付けている。また、法令に基づく場合などを除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供することを禁じている。
2. 情報公開法は、国民主権の理念に基づいて、中央省庁の行政文書の開示を請求する権利と、政府の説明責任(アカウントビリティ)を規定している。同法に基づき、行政文書の開示が認められるためには、請求者が我が国の国籍を有し、かつ18歳以上であることが必要である。
3. 特定秘密保護法は、機密情報を保護し、その漏えい防止を図るための法律である。機密情報は、公務員が職務上知り得た情報のうち、国家安全保障会議が指定したものであり、この機密情報を漏えいした公務員に対する罰則が規定されている。
4. 著作権法は、知的財産権を保護するための法律の一つである。著作権は、新しい発明や考案、デザインやロゴマークなどの著作者が、それらを一定期間独占的に利用できる権利であり、同法による保護を受けるためには、特許庁に申請する必要がある。
5. 商標法は、知的財産権を保護するための法律の一つである。同法は、許可なしに顔写真などの肖像を撮影されたり、利用されたりしないように主張できる肖像権や、有名人の名前や肖像が無断で商品化されたり、宣伝などに利用されたりできないようにするパブリシティ権を規定している。

【No. 39】 為替に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 外国通貨と自国通貨の交換比率のことを外国為替相場、銀行間で外貨取引を行う市場を外国為替市場という。外国為替相場は米国と各国の中央銀行間で決定されており、基軸通貨である米ドルと各国の通貨との交換比率が「1ドル=100円」のように表される。
2. 第二次世界大戦後、外国為替相場の安定と自由貿易の促進を目的としたブレトン=ウッズ体制の下で固定為替相場制の体制が成立した。我が国が国際貿易に復帰する時には、「1ドル=360円」の相場であった。
3. 1973年に先進国間でプラザ合意が成立し、我が国も変動為替相場制へ移行することとなった。経済成長とともに我が国の貿易黒字が拡大し、日米間での貿易摩擦に発展した。そのため、円高・ドル安の傾向が強まり、1985年には「1ドル=80円」に達した。
4. 貿易での決済がドルで行われる場合、円高・ドル安になると我が国の輸入は増加し、円安・ドル高になると我が国の輸出が増加する。為替相場を誘導することは貿易問題を引き起こしやすいことから、国家による為替介入は、変動為替相場制の下では禁止されている。
5. 為替相場の変動によって生じる利益のことを為替差益といい、例えば日本円を「1ドル=100円」の相場ですべてドルに交換し、その相場が円高・ドル安に進んだ後、すべて日本円に交換すると、利益が出ることになる。

【No. 40】 我が国の選挙制度に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 衆議院議員総選挙は、4年ごとに実施され、小選挙区選挙と拘束名簿式比例代表制による。選挙区間の議員1人当たり有権者数に格差があると一票の価値が不平等になるという問題があり、近年の選挙においては、参議院よりも衆議院で一票の最大格差が大きくなっている。
2. 参議院議員通常選挙は、3年ごとに実施され、議員の半数が改選される。参議院の選挙制度は、選挙区選挙と非拘束名簿式比例代表制となっており、選挙区選出議員の定数の方が比例代表選出議員の定数よりも多い。
3. 期日前投票制度とは、選挙期間中に名簿登録地以外の市区町村に滞在していて投票できない人が、定められた投票所以外の場所や郵便などで、選挙期日前に投票することができる制度である。選挙期日に仕事や旅行などの用務がある場合や、仕事や留学などで海外に住んでいる場合などに利用することができる。
4. 従来、国政選挙の選挙権を有する者を衆・参両議院議員選挙は20歳以上、被選挙権を有する者を衆議院議員選挙は25歳以上、参議院議員選挙は30歳以上としていた。平成25年の公職選挙法の改正により、衆・参両議院議員選挙において、選挙権を有する者を18歳以上、被選挙権を有する者を25歳以上とすることが定められた。
5. 公職選挙法では、選挙運動期間以前の事前運動や戸別訪問を禁止するなど、選挙運動の制限が規定されている。平成25年の同法の改正により、電子メールによる選挙運動用文書図画の送信については、候補者や政党に加えて、一般有権者にも認められるようになった。

平成28年度 一般職大卒程度試験  
基礎能力試験 正答番号表

問題	正答	問題	正答
1	1	21	3
2	4	22	1
3	2	23	5
4	3	24	4
5	1	25	1
6	3	26	5
7	4	27	3
8	5	28	2
9	2	29	2
10	5	30	1
11	5	31	2
12	1	32	1
13	5	33	2
14	4	34	5
15	4	35	1
16	2	36	4
17	5	37	1
18	5	38	1
19	2	39	2
20	4	40	2